資料２

知床五湖登録引率者審査部会の議論結果

１．第 39 回審査部会の議論結果

〈決議事項〉

(1) 知床五湖登録引率者　登録試験の結果について

・登録引率者 33 名が登録試験を受験し、全員が合格した。試験結果について承認され、2024 度ヒグマ活動期の引率登録者は 33 名となった。

・新規養成研修には２名の応募があり、研修等を実施したが、登録試験には至らなかった。

〈協議事項〉

(2) 利用適正化計画第 3 期の点検について

・第 44 回あり方協議会において提示した利用適正化計画の改定に関連し、改定を実施する検討項目について協議した。主な意見の内容は資料５－１を参照。

・ヒグマ活動期の運用については、小ループ試行事業の実施方法や評価基準、立ち入り人数の引き上げに関する意見が出された。

・植生保護期の運用については、2023 年度のヒグマの出没状況を鑑み、現行の運用方法に対する課題や利用方法の根本的な見直しに関する意見が出された。

＜その他＞

・ホロベツ園地の改修について登録引率者より意見が出された。

２．第 40 回審査部会の議論結果

〈決議事項〉

(1) 2024 年度 新規養成者の募集及び養成研修について

・新型コロナウイルス感染症対策についての文言を削除し、2023 年度と同様の研修内容で募集することが承認された。

(2) 2024 年度 登録引率者の研修カリキュラム及び登録試験について

・2023 年度と同様の研修カリキュラム及び登録試験の実施内容とすることが承認された。

(3) 2024 年度 ヒグマ活動期の運用計画について

・2023 年度とおおむね同様のヒグマ活動期の運用方法及び当日受付業務の実施内容とすることが承認された。

・小ループ試行事業については、2024 年度は登録引率者や五湖フィールドハウス職員に聞き取りを実施し、本格運用に向けて安全対策の課題や小ループツアーが設定された経緯も踏まえて検討を進めていくこととした。

・本格的なスイレンの除去事業について事務局より提案。2024 年度は１湖を対象とし、参加型の作業を５月から６月にかけて２～３回実施する計画を説明。参加募集の対象者等について協議を行った。

・ヒグマ活動期ハンドブック（第２訂）の改訂について提案し、承認された。

〈協議事項〉

(4) 利用適正化計画第３期の点検について

・第 39 審査部会の議論を受け事務局の対応方針を提示、次期利用適正化計画改定の主な見直し項目について協議を行った。主な意見の内容は資料５－１を参照。

・主に植生保護期の安全対策と登録引率者の位置付けについて議論された。管理面の課題も含めて検討を進めていくこととした。

＜その他＞

・植生保護期の初回レクチャーと駐車場渋滞の対応について意見が出され、運用面で調整することとした。